

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 3. 14

下水道機構の『新技術情報』 第226号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○

本日は、円周率の日です。円周率の近似値 3.14 に因んで、多くの国で 3 月 14 日になっています。そして、円周率にかけて、 π (パイ) の日ともなっています。 π の日は数学ではなくお菓子の方のパイです。バレンタインデーのお返しにパイなどは如何ですか？！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第226号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・ 第 21 回下水道新技術研究発表会 (2/17@東京、2/26@大阪) を開催しました
- ・ 平成 28 年度審査証明事業にかかわる実施要領を 3 月 1 日付で改訂しました
- ・ 平成 28 年度建設技術審査証明事業の受付を 4 月 1 日 (金) より開始します
- ・ 共同研究者を募集しています

■機構の動き

- ・ 今週は、行事はありません

■Tea Break

- ・ 健康維持のためにできることを (技術評価部 S.N さんからの投稿です)
- ・ お花見 (技術評価部 さくら好きさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・ 今回は、北海道大学 佐野先生から、「臨床環境技術の基礎と社会実装」シンポジウム開催についてのお知らせです！

■国からの情報

- ・ 3/7、3/11 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○

インフォメーション (最新の話です)

●第21回下水道新技術研究発表会（2/17@東京、2/26@大阪）を開催しました

東京会場は東京都港区の発明会館、大阪会場は大阪市西区の大阪科学技術センターで開催し、両会場合わせて約160名の方が参加されました。

今回は東京都市大学工学部都市工学科の長岡教授、国土交通省下水道部の森岡下水道事業課長（東京会場）、本田企画専門官（大阪会場）を特別ゲストとしてお招きしました。

長岡教授は、「健全な水環境の創造に貢献する下水道技術の今後のありかた」と題し、健全な水循環の構築に向けた再生水利用の現状・課題と提案等に加え、ご自身の研究テーマであるMBR（膜分離活性汚泥法）技術の今後の展望等についてご講演いただきました。また、国土交通省森岡下水道事業課長、本田企画専門官からは、「下水道をめぐる最近の話題」と題し、平成27年の下水道法の改正の概要や新たな支援制度、平成28年度予算等についてご講演いただきました。

当機構からは今年度の主要テーマを取り上げ、研究第一部は「下水道の防災・減災に向けた取り組み」と題し、下水道BCPの作成・ブラッシュアップ支援や津波対策検討等を中心とした取り組みについて、研究第二部は「流出解析モデル利活用に関する共同研究」と題し、同マニュアルの改訂の経緯や概要について、資源循環研究部は「いっそうの省エネ及び温室効果ガス排出抑制を図る技術」と題し、省エネ型反応タンク攪拌機や省エネ型汚泥処理システムに関する概要やその導入効果等について、各研究部長が研究成果を発表いたしました。

今回の特別ゲストによる講演ダイジェストは4月に発行を予定している「下水道機構情報電子版・ニューズレタープラス」に掲載を予定しています。

●平成28年度審査証明事業にかかわる実施要領を3月1日付で改訂しました。

●平成28年度建設技術審査証明事業の受付を4月1日（金）より開始します。

詳細および実施要領はこちら→<http://www.jiwet.or.jp/examination/general-4>

●共同研究者を募集しています

下水道機構では、共同研究者を募集しています。

募集テーマは、「汚泥処理関連省エネ補機・技術」、「OD法の省エネ技術」、「中小規模の都市を対象にしたストックマネジメント等支援に関する手引き書の検討」の3件です。

※汚泥処理関連省エネ補機・技術に関する詳細はこちら⇒

<http://www.jiwet.or.jp/wp-content/uploads/2016/02/c9570edbf17fc80ba328d572d367219a.pdf>

※OD法の省エネ技術に関する詳細はこちら⇒

<http://www.jiwet.or.jp/wp-content/uploads/2016/02/ef447592cd8b8b0f3c359611eedc1c0c.pdf>

※中小規模の都市を対象にしたストックマネジメント等支援に関する手引き書の検討はこちら⇒

<http://www.jiwet.or.jp/wp/wp-content/uploads/2016/03/8d1142023e22eee49e9f6654d8f41c06.pdf>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●健康維持のためにできることを(技術評価部 S.Nさんからの投稿です)

1月末に第2回審査証明委員会が無事終了し、今年度の審査証明委員会はひとまず幕を閉じました。

これから、交付式や報告書等のとりまとめに追われることとなりますが、ここ最近早く帰宅できています。早く帰宅できた日には、ゆっくり料理できるのは一日で夜食がないので、極力晩御飯を作るようにしています。

帰宅途中の電車の中で、今夜の献立を考えるのはとても楽しいものです。これまで、よくレストラン等で出てくる斜め輪切りにされた鋭利なきゅうりが苦手だったのですが、料理好きの友人から、一口サイズに切ってから包丁で押しつぶすと、断面が複雑になるのでドレッシングが絡み易くて美味しいと聞き、一度試したらとってもおいしかったので、こここのところ自炊できる日は毎晩山盛りサラダを食べています。きゅうり、とまと、シーチキン、コーン、レタスがスタメンで、ドレッシングはグレープシードオイル、レモン汁、岩塩のみです。

これからも野菜をたくさん食べて、仕事もプライベートも元気いっぱいがんばろうと思っています。

●お花見(技術評価部 さくら好きさんからの投稿です)

今朝バスから外を眺めていると、道端の白いモクレンが咲き始めていました。東京では桜の開花が21日頃、満開がその1週間後くらいになるようです。この5年ほど、東京の桜の開花は3月で、最も早かったのは2013年の3月16日、平均すると23日から26日くらいなので満開は3月末から4月2日頃となります。

子どもの頃は入学式、4月6、7日頃に満開だったような記憶があります。最近では入学式のときにはもう散ってしまっている場合が多く、これも温暖化の影響なのでしょうか？

私はここ10年以上、地下鉄九段下駅から歩いて10分ほどの北の丸公園で友人たちとお花見をしています。ここは日本武道館や千鳥が淵など有名なお花見スポットに近いですが、意外な穴場で、朝早くから行かなくても場所の確保が容易で、ゆっくりお花見が楽しめます。皆でちょっとした食べ物を持ち寄り、軽くビールなど飲みながらお花見するのは楽しいものです。

皆さんも桜が咲いたら、好きな桜スポットでお花見はいかがですか？

。○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○。

●今回は、北海道大学 佐野先生から、「臨床環境技術の基礎と社会実装」シンポジウム開催についてのお知らせです！

シンポジウム「臨床環境技術の基礎と社会実装」のご案内（抜粋）
土木学会環境工学委員会では環境中間技術検討小委員会を設置し、開発途上国や人口密度低下地域において社会実装可能な環境技術を開発し体系化して提供できるようにすることを目指して5年間活動してきました。

その成果をまとめシンポジウムを開催する運びになりました。環境技術は上下水道、廃棄物処理、土壌汚染対策、大気浄化、水環境等広範にわたりますので、本シンポジウムでは生活用水と水環境に絞って議論することにいたしました。

- ・日時：5月25日13：00 - 17：00
- ・場所：土木学会会館 講堂（東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園内）
- ・参加費：無料

全文・詳細は以下リンクから↓↓↓

<http://www.jiwet.or.jp/archives/yuimaru/%E3%82%86%E3%81%84%E3%81%BE%E3%83%BC%E3%82%8B2016-3-14>

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→

□
| \★/ |
□

jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016.3.7付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀

=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

●国会審議の状況について【国土交通省】

●マンホールトイレを普及させるためのガイドラインを策定しました【国土交通省】

●浜松市公共下水道終末処理場(西遠処理区)運営事業 実施方針の公表及び特定事業の選定について【浜松市】

●国会審議の状況について【国土交通省】

衆議院インターネット審議中継 (<http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>)

参議院インターネット審議中継

(<http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>)

では、国会審議の状況をライブ中継するとともに、過去の審議の状況をビデオライブラリでご覧頂くことが可能です。

《下水道に関する最近の審議状況》

<衆議院>

○2月25日(木) 予算委員会第八分科会

(http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=45540&media_type=wb)

)

・中川俊直議員(これからの水関連政策に関する国土交通大臣の決意、下水道技術の国際展開)

・大口善徳議員(社会資本の戦略的な維持管理の推進)

○2月25日(木) 予算委員会第六分科会

(http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=45538&media_type=wb)

)

・鈴木義弘議員(人口減少を踏まえた汚水処理の効率的な整備)

●マンホールトイレを普及させるためのガイドラインを策定しました【国土交通省】

国土交通省では、災害時に快適なトイレ環境を確保し、被災者の健康を守るため、被災者が“使いたい”と思えるマンホールトイレを整備するための配慮事項等を取りまとめた「マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン」を策定しました。東日本大震災では、宮城県東松島市の避難所に設置され、被災者から大変好評でした。

一方で、マンホールトイレの設置は全国で約2万基にとどまっており更なる普及が必要です。本ガイドラインの活用により、今後の災害への備えとして、避難所等でマンホールトイレの整備がより一層進み、快適なトイレ環境が確保されることが期待されます。

URL :

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000411.html

●浜松市公共下水道終末処理場(西遠処理区)運営事業 実施方針の公表及び特定事業の選定について【浜松市】

浜松市は、本事業について民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第5条第1項の規定に基づき、特定事業の実施に関する方針（実施方針）を定め、公表しました。また、本事業を同法第7条の規定に基づき、特定事業として選定し、同法第11条の規定に基づき特定事業の選定に係る客観的な評価の結果を公表しました。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

《浜松市公共下水道終末処理場（西遠処理区）運営事業ページ》

→ <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/suidow-s/gesui/seien/pfi.html>

また、実施方針に関する説明会及び現地見学会を以下のとおり開催します。

- ・開催日時：平成28年3月10日（木）午前10時から2時間程度（予定）
- ・開催場所：西遠浄化センター 管理棟2階会議室

※事前申し込みが必要です。申込方法や留意事項については、実施方針をご覧ください。

◆三角コーナーとおさらば！ ディスポーザーって便利なの？ 〈3/1 読売新聞〉

http://realestate.yomiuri.co.jp/yolp_journal_item_106821.html

◆米艦の汚水処理施設説明会 九州防衛局 〈3/3 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/nagasaki/news/20160302-0YTNT50237.html>

◆下水処理場保管の汚染焼却灰 施設からの搬出完了 〈3/3 東京新聞〉

<http://www.tokyo-npo.co.jp/article/kanagawa/list/201603/CK2016030302000183.html>

◆諏訪湖の貧酸素対策を論議 県、来年度に専門家交えて 〈3/3 信濃毎日新聞〉

<http://www.shinmai.co.jp/news/nagano/20160303/KT160302ATI090006000.php>

下水道ホットインフォメーション（2016.3.11付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

●国会審議の状況について【国土交通省】

●シンポジウム「臨床環境技術の基礎と社会実装」の開催について（5/25開催）【土木学会環境工学委員会】

○下水道部関係人事

3／1 外務省在サウディ・アラビア王国日本国大使館二等書記官 大上陽平（総合政策局海外プロジェクト推進課 課付）

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

●国会審議の状況について【国土交通省】

衆議院インターネット審議中継 (<http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>)

参議院インターネット審議中継

(<http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>)

では、国会審議の状況をライブ中継するとともに、過去の審議の状況をビデオライブ
ラリでご覧頂くことが可能です。

《下水道に関する最近の審議状況》

<参議院>

○3月10日(木)国土交通委員会

(<http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>)

・河野義博議員(国土交通省所管事業におけるPPP/PFIの取組状況。ビデオ中2時
間20分前後。)

●シンポジウム「臨床環境技術の基礎と社会実装」の開催について(5/25開催)【土
木学会環境工学委員会】

土木学会環境工学委員会では環境中間技術検討小委員会を設置し、開発途上国や人
口密度低下地域において社会実装可能な環境技術を開発し体系化して提供できるよ
うにすることを目指して5年間活動してきました。その成果をまとめシンポジウムを開
催する運びになりました。開発途上国や先進国人口密度低下地域において社会実装可
能な環境技術は適用地区の経済的負担力、技術力、人口、必要物品供給力、生活環境
の要求レベル、地下水水質、排水放流先環境、文化・慣習などに大きく依存します。
そのため、これらの条件に応じて適用可能な技術は異なるため、社会実装可能な環境
技術を臨床環境技術と名付け、適用可能性から見た技術選択の実例を中心に講演会を
開催することにしました。

・日時：5月25日13:00-17:00

・場所：土木学会会館 講堂(東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園内)

・講演：

13:00~13:30 臨床環境技術の考え方と技術内容(楠田哲也(九州大学))

13:30~14:10 日本の人口減少地域の実態と臨床環境技術適用の方策(牛島健(北
海道立総合研究機構))

14:10~14:50 インドでの経験と適用臨床環境技術(原田秀樹(東北大学))

14:50~15:10 休憩

15:10~15:50 ベトナムでの経験と個別臨床環境技術(安井英斉(北九州市立大
学))

15:50~16:30 ブルキナファソでの経験と個別臨床環境技術(船水尚行(北海道
大学))

16:30~17:00 討議

・参加費：無料

参加ご希望の方は、氏名(必須)、所属、連絡メールアドレス(必須)を記載の上、
こちらに参加予約をお願いします。

→《参加連絡先》九州大学 楠田哲也 (Email: kusuda@kyudai.jp Tel&Fax: 092-
607-0250)

=====

◆マンホールカードはいかが？＝処理場、見学施設で無料配布ー下水道PRへ今春第
1弾〈2/29 時事通信〉

<http://www.jiji.com/jc/zc?k=201602/2016022900203&g=soc>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20151030/>
